

国際大会団長報告

大会名	2022年 世界 エクイップド&クラシック サブジュニア・ジュニア パワーリフティング選手権大会
開催国名	トルコ共和国
開催都市名	イスタンブル
大会期間	2022年8月27日～9月4日
団長名(報告者)	中村英明
帯同審判名	なし
大会参加国(地域)数	equipped:26 classic:42
大会参加選手数	equipped:154(M: 79 F:65) classic:304(M:157 F:147)

※必要に応じて行を挿入してください

	参加選手名	階級	種別	性別	カテゴリ	SQ記録	SQ順位	BP記録	BP順位	DL記録	DL順位	To記録	To順位
記載例	○○○○	66.0	CL	男子	SJr	200.0	1	150.0	1	200.0	1	550.0	1
1	島村 朋季	59.0	EQ	男子	SJr	155.0	5	110.0	4	150.0	5	415.0	5
2	小島 悠生	66.0	EQ	男子	SJr	160.0	5	155.0	1	180.0	6	495.0	5
3	下川 陽向	74.0	EQ	男子	SJr	187.5	4	115.0	4	212.5	3	515.0	4
4	神田 蒼生	53.0	CL	男子	SJr	110.0	4	62.5	5	140.0	5	312.5	5
5	犬伏 隆一	59.0	CL	男子	SJr	162.5	4	148.0	1	175.0	7	485.5	1
6	大場 浩樹	59.0	CL	男子	SJr	182.5	1	97.5	2	197.5	2	477.5	2
7	光岡 蓮人	74.0	CL	男子	SJr	180.0	8	112.5	6	192.5	10	485.0	9
8	原田 孝太郎	93.0	CL	男子	SJr	180.0	12	130.0	6	205.0	11	515.0	10
9	光岡 大晴	93.0	CL	男子	SJr	180.0	11	100.0	11	210.0	10	490.0	11
10	飯塚 照元	105.0	CL	男子	SJr	205.0	10	145.0	10	220.0	9	570.0	8
11	佐藤大河	59.0	CL	男子	Jr	190.0	5	147.5	1	245.0	3	582.5	2
12	吉岡 京介	59.0	CL	男子	Jr	197.5	3	140.0	2	210.0	9	547.5	5
13	村田 侑司	66.0	CL	男子	Jr	210.0	5	142.5	4	240.0	5	592.5	3
14	山田 航也	74.0	CL	男子	Jr	205.0	9	145.0	11	225.0	14	575.0	13
15	石井 蓮	83.0	CL	男子	Jr	242.5	12	165.0	11	270.0	10	677.5	13
16	佐藤 陽太郎	105.0	CL	男子	Jr	230.0	18	160.0	16	212.5	18	602.5	18
17	西山 友菜	52.0	CL	女子	SJr	85.0	4	50.0	4	117.5	3	252.5	4
18	戸塚 真奈美	57.0	CL	女子	SJr	77.5	10	37.5	10	95.0	10	210.0	10
19	山口 紗奈	63.0	CL	女子	SJr	72.5	10	42.5	10	110.0	10	225.0	10
20	牧 安里紗	52.0	CL	女子	Jr	90.0	9	57.5	9	110.0	9	257.5	9
21	野村 優	63.0	CL	女子	Jr	150.0	8	95.0	5	200.0	3	445.0	4
22													
23													
24													
25													

※必要に応じて行を挿入してください。挿入する場合はNo24以前に挿入すると数式の再設定不要です。

メダル獲得数集計シート
(自動計算されます)
(数字は半角英数字を使用し、数式破損に注意)

SQ金メダル	1	BP金メダル	3	DL金メダル	0	To金メダル	1
SQ銀メダル	0	BP銀メダル	2	DL銀メダル	1	To銀メダル	2
SQ銅メダル	1	BP銅メダル	0	DL銅メダル	4	To銅メダル	1
SQメダル計	2	BPメダル計	5	DLメダル計	5	Toメダル計	4
大会獲得メダル合計							
16							

このうちequippedがBP金1 DL銅1

【大会の様子】

- 競技会場：メインホテル (Eser Diamond Hotel 地下1階 狭い) 会場横のアップ場へはIDチェックあり・時折、規定通りの人数制限あり
- 用具：エレコ1台 (プラットフォーム・コンボラック・シャフト・プレート) ・アップ場5台 (新・エレコ4台) ・観客席120席 物品販売：トルコ協会のみ (SBD・A7・TITANなどの出店なし)
- 宿泊ホテル：RAMADA PLAZA SILIVRI
到着後、判明したことであるが、競技会場のあるメインホテルまで直線距離で3km (道路を迂回するためバスで15分弱) 離れた建設中のホテルであった。レセプション、夜間の関係者の常駐もなく、二度の断水や停電、トイレトペーパー、アメニティグッズ類の未配備、リネン類の未交換などの不備が目立ち、団長対応も多くあった。食事や練習はシャトルバスを使ってメインホテルに行く必要があったので、選手には不便さだけでなく大きな負担であった。夜の練習も日本人選手は11時までのはずであったが、トルコが練習をするので10時に退出を求められる日もあった。宿泊ホテルが派遣前には確定していれば、もっと対応ができたと思う。また、未成年の派遣については、コロナ禍であったため、より慎重な参加募集が必要だと感じた。
- 競技：
 - ①コスチュームチェック：担当チェッカーにより異なる (検量の30～15分前から開始) 検量 (ロット番号によらない場合あり)。順番通りでない時は、ロット番号順に行うように確認が必要。
 - ②判定：審判は正確かつ公正な判定を下すことが役割の前提であるが、日本人選手の試技の判定について抗議をする場面が他国よりも多かった。無駄であっても、きちんと陪審員に抗議が必要である。
 - ③セコンド：PCR検査の受検や感染防止リスク回避のためにも最小限で行ったが、初出場の選手が多く、割当には苦心した。
- 健康管理：体調不良者 (発熱など) を3名病院に搬送し、点滴・服薬で対応。日本入国のためのPCR検査受検は当初帰国時の空港で実施予定であったが、リスクヘッジのためにも3班に分けて前日までに実施し、全員陰性であった。
- その他 帰国時のチェックインカウンターで、厚労省のPCR検査証明書のフォーマットが通用しないチェッカーがいて、数名の選手の搭乗券発券が遅れ、搭乗時刻間近になってしまった。空港への到着は、できる限り早めることであったと改めて感じた。

